



## 海辺・川辺調査レポート

※このフォームをご利用いただくか、ご自分で作成していただいて構いません。

■ 名 前 (ふりがな)	岩崎 航
■ グループ名	
■ 学校名	能生小学校
■ 学 年	4 学年
■ 年 齢	9 才
■ お手伝いしていただいた方の名前	母親

■ レポートした場所	能生町
■ レポートの題名	ぼくとお母さんが育った海の町
■ 内 容	<p>① 夏の弁天浜 52 年前→現在</p> <p>母 : 「わたる、写真を比べてどこが変わった？」</p> <p>わたる : 「浜茶屋ができて、コンクリートの階段になった。昔は漁船があったけど、今は車が浜まで入れて長野の人たちなどがテントをもってきてバーベキューをしながら海水浴を楽しんでいる。</p> <p>「なんで砂浜じゃなくなったのかなあ？」</p> <p>母 : 「それはね、砂浜がどんどん波にけずられてしまい、これ以上浜がなくならない様にしたんだよ」</p> <p>わたる : 「ふうーん」橋も昔は木で造ってあったけど今はコンクリートだ」あぶないから取り壊していたんだよ。それで観光客が能生町にたくさん来てもらうためいつでも渡れる安全で美しい橋を造ったそうだよ」(御開帳の時だけ橋がかけられた)</p> <p>「お母さんも子供のころ木の橋を渡った事があるけど板と板のすき間があいていて少しこわかった事を覚えている」</p> <p>わたる : 「あっあと弁天岩の松の木が 1 本なくなっているし、岩を少しけずられている」</p> <p>母 : 「変わらない物が 1 つあるよ！なーんだ！」</p> <p>わたる : 「わかった、灯台は変わっていない」</p> <p>②③</p> <p>母 : 「この写真は道のない所に道路が出来た様子がよくわかるね」</p> <p>わたる : 「昔の道路はせまくてジャリ道で波があるとあぶないね」</p>

母 : 「亡くなったおばーちゃんが言っていたけど昔は車が少なくリヤカーを引いて糸魚川まご酒問屋に仕入れに行ったらしいよ！冬は波や風から家を守るために冬がこいをしていた。今はそこにテトラポットと国道8号線が出来てどうなった？」

わたる : 「たくさん車やトラックが安心して通れるようになった」

母 : 「お母さんが子供のころは家の裏の海でよく泳いだよー！」

わたる : 「いいなーすぐ近くで泳ぐことが出来て」

母 : 「港も整備されて海があれても安心だね」

わたる「でもびっくりしたのが高速道路のトンネル工事で出土を使って海だったところを埋め立ててマリンドリームやB&Gプールが出来た事だ」

母 : 「いろんな所が整備されて安全で便利になったけどこれでいいのかな？」

わたる : 「いいと思うよ」

母 : 「将来どうなったらいい？」

わたる : 「うーん親がついていなくても子供だけで安心して海の生物と触れ合える場所ができればいいなーと思う。それとゴミのない海と駐車料金をとらない海になってほしい！」

P. S 能生川は毎年さけが産卵にやって来る  
たくさんさけが来るようにさけの稚魚を放流する  
能生漁業組合ではヒラメの稚魚の放流をしている

## ■ 写 真 名 前

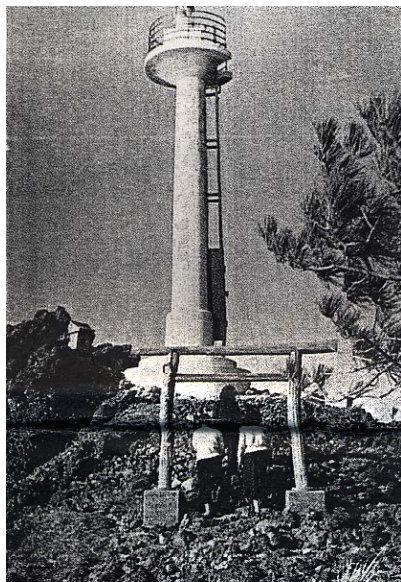


⇒



昭和28年夏（1953年）

能生港灯台は現在、光度 8500 カンデラ、光達距離 15.5 海里（約 29 km）、単閃白光で毎三秒に一閃光の灯台である。



⇒

昭和29年度（1954年）

⇒



昭和26年夏（1951年）

学校にプールはなく弁天浜海水浴場に飛び込み台を作り水泳の練習をした

※写真や資料で、自分のもの以外を使用する場合は、必ず、何の資料か、誰の写真かなど、連絡先や住所などをメモして保存しておいてください。公表する際に、必要となります。

※本文（内容）と写真は、セットとして、メールで送信するか、郵送してください。

※この用紙以外でも構いません。

①夏の弁天浜



⇒



昭和 60 年 4 月完成 あけぼの橋

②能生町



小浜



マリンドリーム



③能生海岸



⇒



⇒

⇒



浜木浦

⇒

